

# 2020 年度 オンライン授業アンケート集計結果報告

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、本学では5月11日から当面の間、原則として全ての授業をオンライン形式で行うこととしました。緊急事態宣言が解除され、後期の授業形態が検討される中、この間実施してきたオンライン形式による授業について、学生に対してはその理解度や満足度等を、教員に対してはその実施内容等を訊くアンケートを実施しました。

ここでは、その集計結果について報告します。

<学生用アンケート集計結果>

<教員用アンケート集計結果>

# 学生を対象としたオンライン授業アンケート 報告書

2020年9月10日 教学IR推進室

## 報告書の構成

- I. 調査概要
- II. 調査結果ダイジェスト
- III. 学年別分析結果
- IV. 項目間の相関
- V. 自由記述（抜粋版）

## I. 調査概要

### 1. 対象・内容

2020年7月に東京都立大学の学生・大学院生を対象にオンライン授業に関するアンケートを実施した

### 2. 方法

- (1)調査対象：東京都立大学に在籍する全学生・大学院生 9126名
- (2)調査期間：2020年7月1日～15日
- (3)調査方法：Web上でアンケートへの回答を求めた
- (4)有効回答：3568件(回収率、39.1%)

### 3. 回答者属性

	人文・社会科学部/ 人文・社会科学研究 科/社会科学研 究科	法学部/法学系/ 法学部/法学研究 科	経済経営学部 /経営学系/経 営学研究科	理学部/理工 学系/理工研 究科	都市環境学部 /都市政策 コース/都市 環境科学研究 科	システムサイ ン学部/システ ムサイエンス研 究科	健康福祉学部 /人間健康科 学研究科	合計
1年生	166 13.8%	152 12.6%	144 12.0%	155 12.9%	190 15.8%	233 19.3%	185 13.7%	1205 100.0%
2年生	106 13.5%	88 11.2%	70 8.9%	103 13.2%	130 16.6%	171 21.8%	115 14.7%	783 100.0%
3年生	116 17.4%	92 13.8%	60 9.0%	80 12.0%	115 17.2%	128 19.2%	77 11.5%	668 100.0%
4年生	71 19.2%	36 9.8%	48 13.0%	37 10.0%	41 11.1%	48 13.0%	88 23.8%	369 100.0%
修士1年	20 7.1%	5 1.8%	17 6.0%	45 16.0%	70 24.8%	94 33.3%	31 11.0%	282 100.0%
修士2年	9 8.0%	0 0.0%	15 13.3%	20 17.7%	22 19.5%	27 23.9%	20 17.7%	113 100.0%
博士1年	6 17.6%	1 2.9%	3 8.8%	7 20.6%	4 11.8%	6 17.6%	7 20.6%	34 100.0%
博士2年	9 36.0%	1 4.0%	0 0.0%	3 12.0%	6 24.0%	2 8.0%	4 16.0%	25 100.0%
博士3年	19 43.2%	1 2.3%	1 2.3%	6 13.6%	2 4.5%	6 13.6%	9 20.5%	44 100.0%
法曹養成専攻1 年	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
法曹養成専攻2 年	0 0.0%	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
法曹養成専攻3 年	0 0.0%	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	522 14.6%	420 11.8%	358 10.0%	456 12.8%	581 16.3%	715 20.0%	516 14.5%	3568 100.0%

## II. 調査結果ダイジェスト

### III. 学年別分析結果

#### 1. 学年別分析結果より

- 学年が低いほどオンライン授業でのグループワークを経験していた
- 学年が低いほど授業内容の理解度が低くなっていた
- 学年が低いほどオンライン授業への満足度が低くなっていた
- 1年生はオンライン授業のデメリットを他の学年よりも感じており、オンライン授業に対する要望も多い傾向にあった。

#### 2. 所属別分析結果より

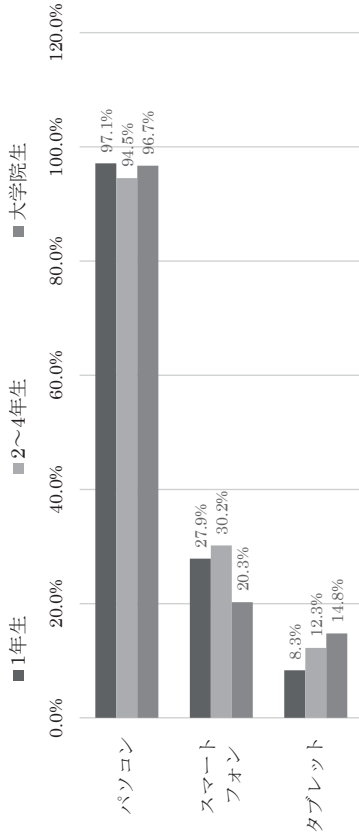
- 理系学部では板書を活用した授業の経験が多く、法学部ではオンデマンドの授業の経験が多いなど、所属によって授業経験に違いのある項目があった。
- 文系学部では一週間の学習時間が理系学部よりも少ない傾向にあった。
- 人文社会学部ではリアルタイムの授業への要望が多い一方で、法学部ではオンデマンド授業への要望が多いなど、所属によって要望に違いのある項目があった。

#### 3. 項目間の相関分析より

- 授業経験と授業への取り組み方・満足度にはほとんど関連はなかった
- 授業満足度には授業への意欲と授業内容の理解度が関連していた

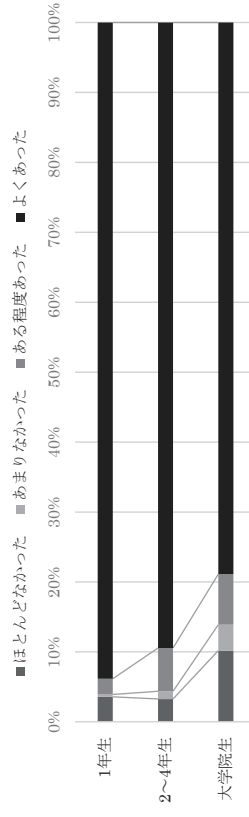
#### 1. オンライン授業における使用機器

パソコンはほとんどの学生が用いていたが、2～3割の学生はスマートフォンも用いていた。

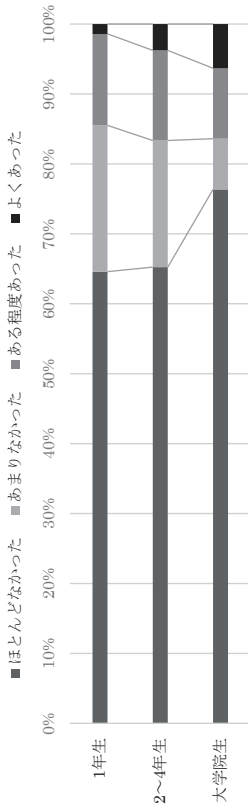


#### 2. オンライン授業の経験

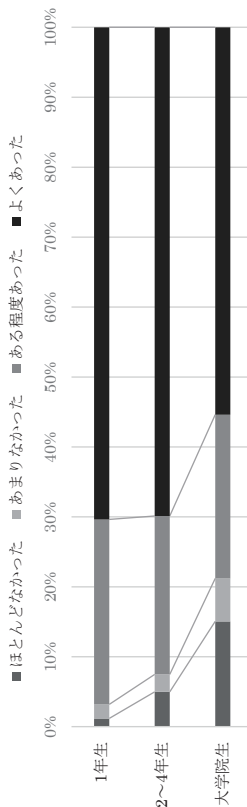
学年が低いほどグループワークを行う機会や、チャットなどでリアルタイムに質問する機会が多くなっていた。大学院生ではスライドなどを示しながら教員が話す授業や、事後課題が課される授業が少ない傾向にあった。



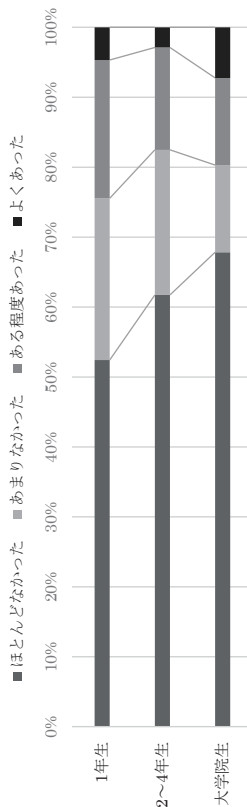
1.授業が開講される時限にリアルタイムで配信



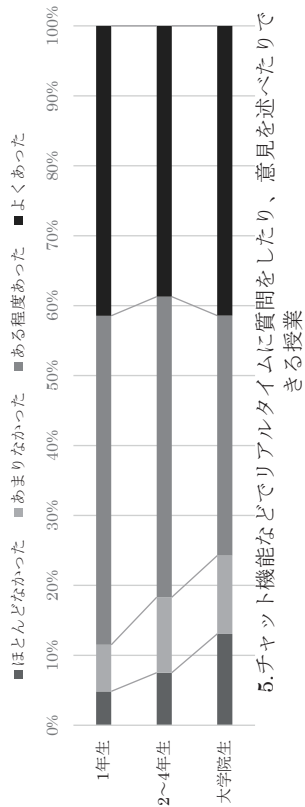
2.好きな時間に授業の動画を視聴できるオンデマンド型の授業



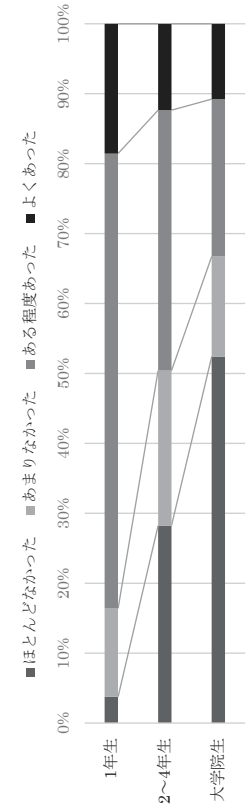
3.授業時間のほとんどを、スライド等を示しながら教員が話す授業



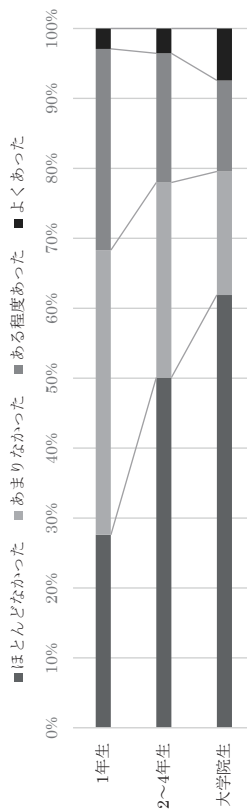
4.授業時間のほとんどを、教員が教室で板書しながら話す授業



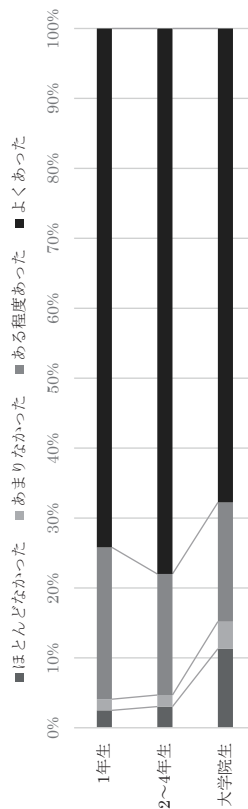
5.チャット機能などでリアルタイムに質問をしたり、意見を述べたりできる授業



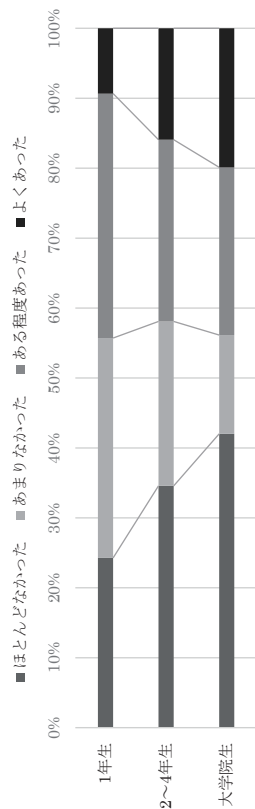
6.オンライン上で学生がグループに分かれて作業する機会(Zoomのブレイクアウトルーム等)のある授業



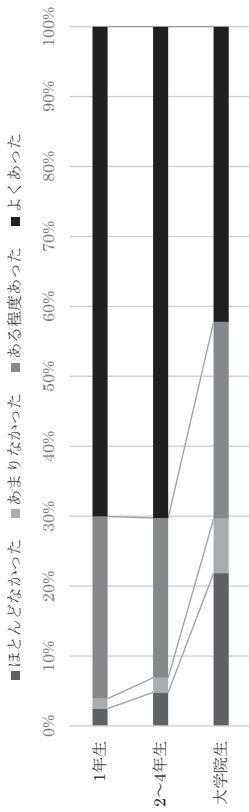
7.授業後に授業の動画を見返すことができる授業



8.オンライン上(kibaco等)に授業資料がアップされている授業



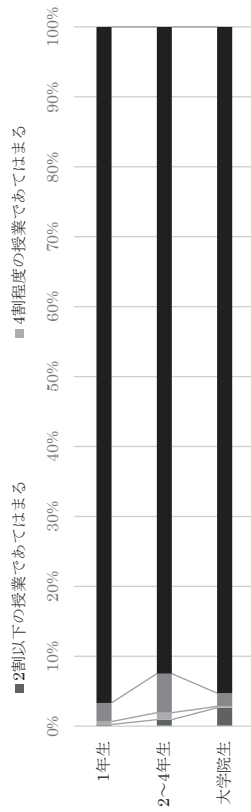
9.オンライン上(kibaco等)で事前課題を課す授業



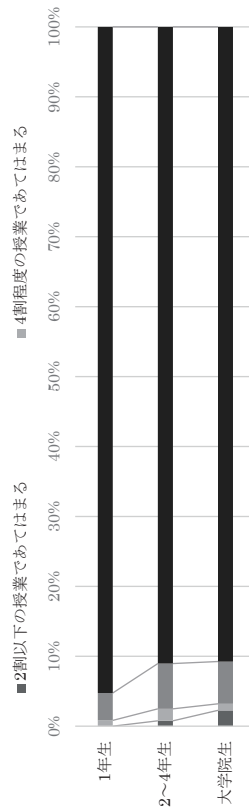
10. オンライン上(kibaco等)で事後課題を課す授業

### 3. オンライン授業への取組状況

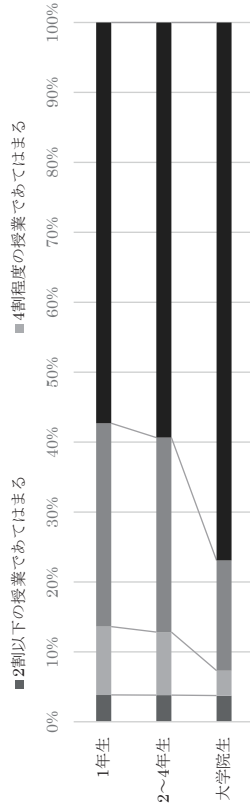
ほとんどの学生は遅刻欠席をせずに授業に参加し、課題をこなしていた。学年が低いほど、意欲的に取り組む度合いや、授業の理解度が低くなる傾向にあった。



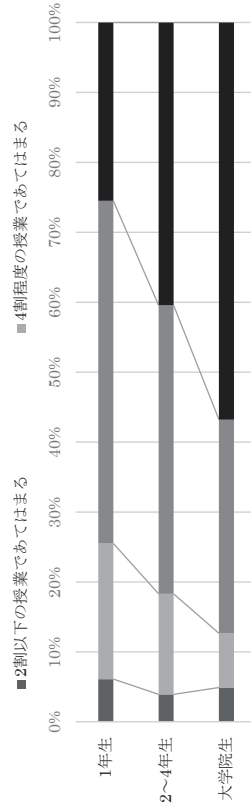
1. リアルタイムのオンライン授業には、遅刻や欠席をせずに参加した



2. オンライン授業で課された課題はきちんとこなした



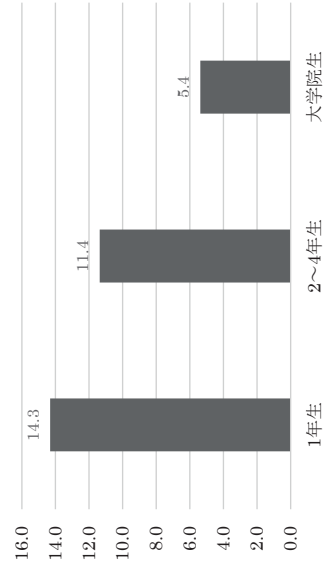
3. オンライン授業には意欲的に取り組んだ



4. オンライン授業の内容は十分に理解できた

### 4. 1週間の授業コマ数

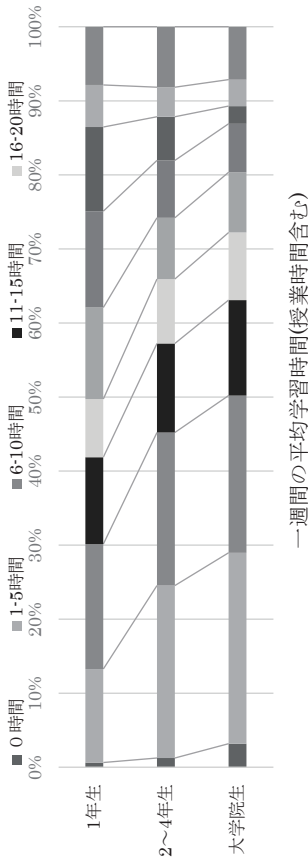
学年が低いほど授業コマ数が多くなくなった



一週間に履修登録したコマ数

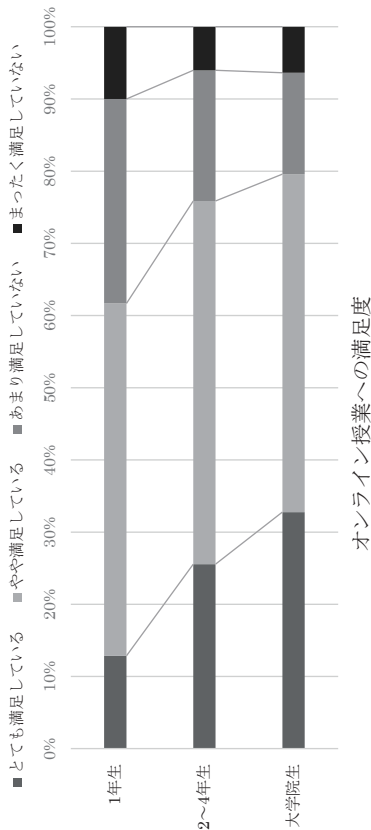
### 5. 一週間の平均学習時間（授業時間含む）

学年が高いほど1週間の平均学習時間が短い傾向にあった。



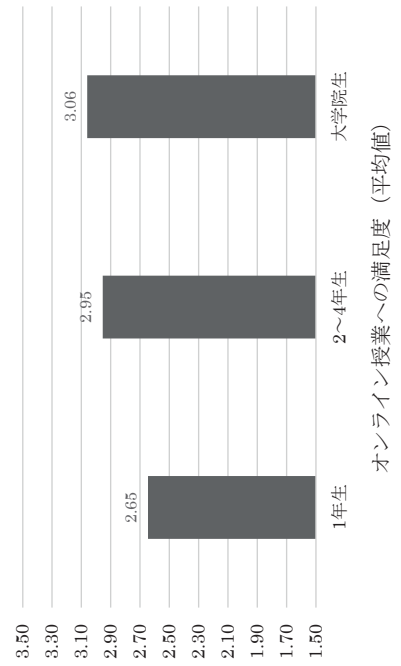
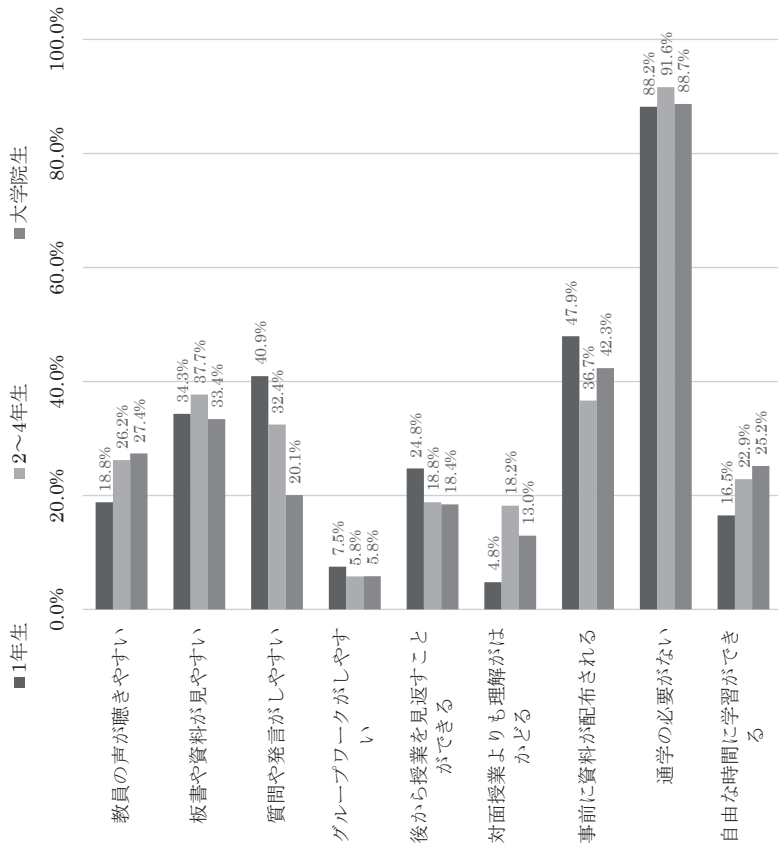
### 6. オンライン授業への満足度

学年が低いほどオンライン授業への満足度が低くなっていた。



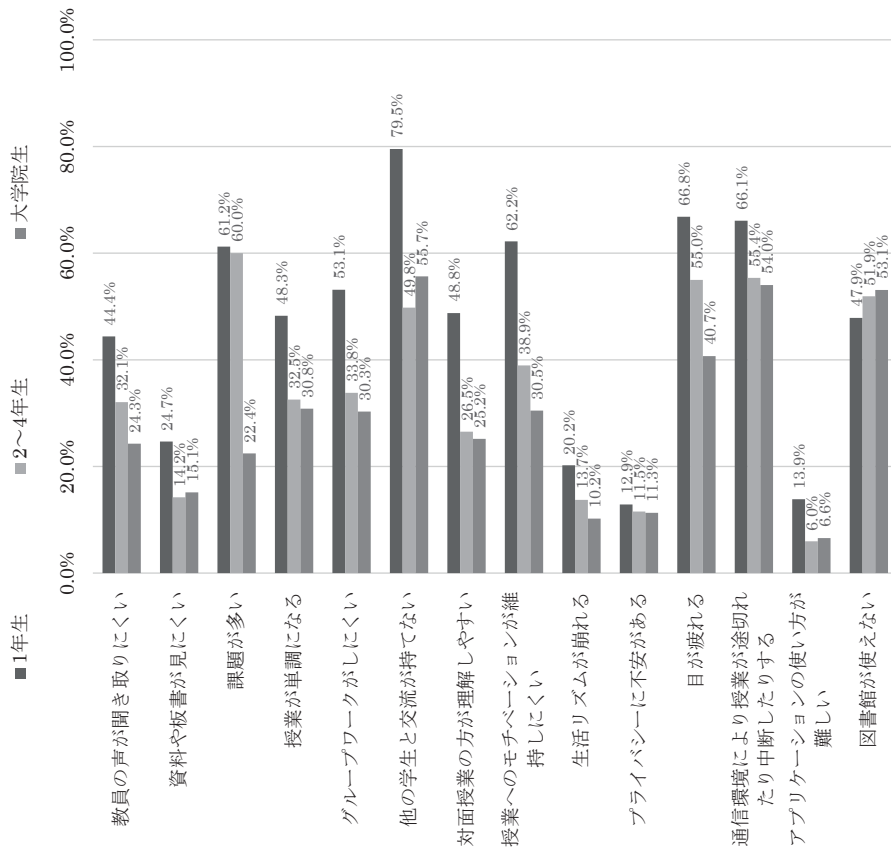
### 7. オンライン授業のメリット

メリットとしては「通学の必要がない」が最も多く上げられ、次いで「事前に資料が配布される」「板書や資料が見やすい」となった。また、学年が低いほど「質問や発言がしやすい」という回答が多い傾向にあった。



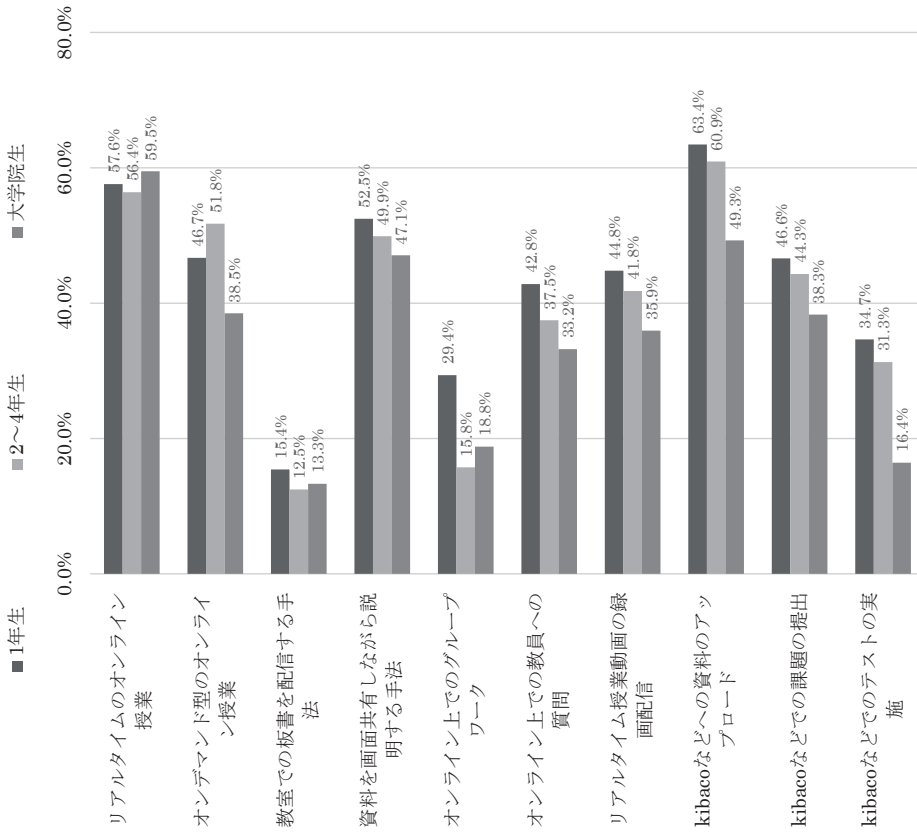
### 8. オンライン授業のデメリット

「他の学生と交流が持たない」「通信環境により授業が途切れたり中断したりする」「目が疲れる」「課題が多い」といったことが多く挙げられていた。また、全体的に1年生はデメリットとして回答する割合が多い傾向にあった。



### 9. 今後のオンライン授業への要望

今後のオンライン授業への要望としては、「kibaco などへの資料のアップロード」「リアルタイムのオンライン授業」「資料を画面共有しながら説明する手法」などへの要望が多くなっていった。また、全体的に学年が低いほど要望の割合が高くなる傾向があった。



#### IV. 項目間の相関

##### 1. 授業経験とオンライン授業への取組・満足度との相関

項目間の関連を検討するために相関係数を求めた。統計的には有意には有意になっっている箇所もあるが、授業経験とオンライン授業への取組・満足度には強い関連はなかった。

オンライン授業への取組み方・満足度						
	リアルタイムのオンライン授業には、遅刻や欠席をせずに参加した	リアルタイムのオンライン授業で選んだ問題は、遅刻や欠席をせずに参加した	リアルタイムのオンライン授業では意図的に取り組んだ	オンライン授業の内容は十分に理解できた	1週間の平均学習時間	オンライン授業への満足度
授業が再開される瞬間にリアルタイムで配信	0.115 ***	0.104 ***	-0.007	-0.004	0.065 **	0.003
好きな時間に授業の動画を視聴でき、オンデマンド型の授業	-0.056 **	-0.057 **	0.015	0.016	0.026	0.063 ***
授業時間のほとんどを、教員が授業内容を説明しながら教員が話す授業	0.060 ***	0.105 ***	-0.045 **	-0.049 **	0.061 ***	0.013
授業時間のほとんどを、教員が授業内容を説明しながら教員が話す授業	-0.009	-0.012	0.030	-0.032	0.065 ***	-0.009
チャット機能などでリアルタイムに質問をしたり、意見を述べたりできる授業	0.063 ***	0.062 ***	0.086 ***	0.136 ***	0.077 ***	0.135 ***
オンライン上で学生がグループに分かれて作業する機会(Zoomのブレイクアウトセッション等)のある授業	0.069 ***	0.076 ***	0.036 *	0.017	0.172 ***	-0.034 *
授業後に授業の動画を見返すことができる授業	0.014	0.051 **	0.051 **	0.027	0.063 ***	0.071 ***
オンライン上(Kibao等)に授業資料がアップされている授業	0.072 ***	0.123 ***	0.022	0.058 **	0.063 **	0.063 ***
オンライン上(Kibao等)で事前課題を選択する授業	0.020	0.020	0.064 **	0.035 *	0.101 ***	-0.001
オンライン上(Kibao等)で事後課題を選択する授業	0.060 ***	0.099 ***	-0.033	-0.072 ***	0.166 ***	-0.040

\* p<.05 \*\* p<.01 \*\*\* p<.001

##### 2. オンライン授業への取組・満足度に関する項目間の相関

遅刻や欠席をせずに参加している学生は課題もきちんとこなしていること、授業に意図的に取り組んでいる学生は理解度も高いことが示された。オンライン授業への満足度には、授業に意図的に取り組んでいるか、授業内容が理解できたかが関連していることも明らかになった。

	リアルタイムのオンライン授業には、遅刻や欠席をせずに参加した	リアルタイムの授業で選んだ問題は、遅刻や欠席をせずに参加した	オンライン授業には意図的に取り組んだ	オンライン授業の内容は十分に理解できた	1週間の平均学習時間	オンライン授業への満足度
リアルタイムのオンライン授業には、遅刻や欠席をせずに参加した	0.398 ***	-	-	-	-	-
オンライン授業で選んだ問題は、遅刻や欠席をせずに参加した	0.279 ***	0.272 ***	-	-	-	-
オンライン授業には意図的に取り組んだ	0.149 ***	0.176 ***	0.554 ***	-	-	-
オンライン授業の内容は十分に理解できた	0.106 ***	0.132 ***	0.146 ***	0.032	-	-
1週間の平均学習時間	0.079 ***	0.090 ***	0.342 ***	0.447 ***	-0.025	-

\*\*\* p<.001

#### V. 自由記述 (抜粋版)

\*自由記述については回答数が多いため、抜粋版を示した。

##### オンライン授業のメリット

###### 1 通学の必要がない

- ・通学の必要がないため、その時間を勉強や睡眠に充てられる。
- ・出席率が上がり、遅刻も無くなった。
- ・1限の出席率が上がった。

###### 2 すぐに調べられる

- ・授業中にわからないところを参考書やネットですぐに調べられるので、より理解を深めることができる。
- ・辞書や参考書などの重い資料を持ち運ぶ必要がない。

###### 3 教室の移動がない

- ・通常であれば受講できなかった違うキャンパスの授業でも、移動時間を気にせずに自由に自由に時間割を組むことができた。
- ・教室の移動が生じないため、その時間を授業の準備、予習復習などに充てられる。
- ・ノートを見返したり、字の汚い部分を直す、といったことを授業後にすぐ行える。
- ・1限の次の5限といった時間割を組めるようになった。

###### 4 快適な環境で受講できる

- ・他の人の会話等で集中力が削がれず、集中して授業に取り組みることができる。
- ・教室は空調環境等が劣悪だが、自宅であれば快適でリラックスした環境で学修することができる。
- ・座席数ギリギリの窮屈な環境ではないので、授業に集中しやすい。
- ・対面と異なり、座る場所によって黒板が見にくい、声が聞き取り難い(聞き取り難ければ自分で音量調整ができる)、といったことが無く、内容が理解しやすい。
- ・持ち物や服装の心配をする必要がない。

###### 5 質問がしやすい

- ・Zoomのプライベートチャット機能を使用できるので、質問がしやすい。
- ・匿名で質問できるのでよい。

###### 6 体調不良時等でも参加できる

- ・体調が少し悪く通学が厳しい状態であっても、自宅であれば参加できる。
- ・悪天候で交通機関が乱れた時でも、授業に参加できる。



## 7 オンデマンド形式の授業・授業動画の配信について

- ・オンデマンド形式の授業は自分の好きな時間に受けることができるのが良い。また、動画をいつでも見れるので、復習しようという気になり易い
- ・オンデマンド形式の授業は倍速再生が可能であったり、分らないところがあれば巻き戻したり、一時停止できたりするので、理解が捗る。
- ・オンデマンド形式であれば、通信障害の心配なく受けることができる。
- ・オンデマンド形式の授業は溜めしてしまうのではと心配したが、理解度を高める小テストがkibacoで配信され、モチベーションを保ちながら積極的に勉強に取り組んでいる。
- ・授業動画を配信してくれた場合、理解できなかつた部分の復習に役に立つ。
- ・就職活動等で欠席せざるを得ない授業であっても、授業動画が配信されていれば後から受講することができるとができる。

## 8 グループワークについて

- ・PPTや写真などのデジタルデータをグループの中で共有できるので、学修が捗る。
- ・普段は仲のよい人と近くの席に座るので同じメンバーでグループワークをすることになるが、オンラインだとランダムにメンバーが決められるので、いろいろな人と話すきっかけになった。
- ・コミュニケーションの方法が限られている分、話す力、伝える力がついた気がする。
- ・授業時間外のグループワークがし易い。集まり易い。

## 9 資料配布について

- ・対面の際は配布が無かったが、資料を電子データで受け取れるので予習・復習に役立つ。
- ・配布物・資料がデジタルなので管理しやすい。紙のように散逸しない。
- ・パソコンでデジタル的に資料に書き込みできるのが良かった。

## 10 その他

- ・全ての学生が授業を教室の一番前で受けているような感覚。一対一で向き合えるので対面の時よりも勉強が楽しく、興味を持って学べている。
- ・周りの友達に聞くことができなないので、より集中して授業を受けている。
- ・やる気のある学生は、どんどん自分の学力を上げることができる。
- ・ほとんどの授業で毎週課題があり、そのリズムが定着してきた。学修習慣を身に付けることができた。
- ・働きながら通学しているので、オンラインだと社会人学生は非常に助かる。
- ・Zoomによる授業だと、対面よりも他の受講者の顔と名前を憶え易い。
- ・自分の顔が画面に映るので、緊張感をもって授業に臨めた。
- ・対面だと口頭からの情報が多いが、オンラインだと文字化されているので、的確な情報を得やすい。
- ・プロジェクターに写すよりも圧倒的に画像が見易くなった。
- ・途中に休憩の時間があると、集中力の維持に効果があり助かった。

- ・重要な部分はスクリーンショットで保存ができ、復習することができる。
- ・オンラインということもあってか、対面時よりも教員の説明が丁寧だった。
- ・講義形式の授業は、教室で受けてもオンラインで受けてもあまり変わらない。むしろ大教室での授業は黒板が見難いので、オンラインで助かっている。
- ・普段は参加できない遠方の研究者が授業に参加してくれた。

## オンライン授業のデメリットと要望

### 1 教員に対する要望

### 2 オンライン授業に対する要望

### 3 大学に対する要望

### 1 教員に対する要望

#### (1) 課題について

##### ① 課題の量が多い

- ・課題の量が多すぎる。
- ・通学時間は無くなったが、それよりもオンライン授業で増えた課題を消化する時間の方が長いように感じる。
- ・せめて部局内で課題の量を調整して欲しい。
- ・課題が多すぎて、授業内容の理解をさらに深めるための自主的な学修が全くとできない。
- ・課題をこなすばかりで、肝心の内容の理解が追いつかない。理解しようとするとすぐ次の課題が来てしまう。
- ・課題が多すぎて復習する時間がない。他のことができなくなる、夜遅くまで課題をやると全く授業が頭に入っていない。悪循環である。
- ・理解を促すための課題ではなく、出席代わりや、評価のための単調な課題が多い。
- ・課題を課すのであれば、課すことで何を不得欲しいのか、授業を通じて先生は何を伝えたいのか、目的意識をはっきりと伝えて欲しい。

##### ② フィードバックについて

- ・課題を出すばかりで、フィードバックが全くない。

##### ③ 課題を出す時間帯や締切について

- ・課題が出る時間がマチマチで、チェックが大変。課題が出る度に、何度も印刷のためにコンビニに行かなければならない。
- ・早めに課題の内容を周知して欲しい。提出期限を普段よりも長くして欲しい。
- ・急にその日が締め切りの課題を出されるのは困る。予定が立てられない。

##### ④ 課題の提出について

- ・課題の提出方法が授業により様々なので、kibacoに統一して欲しい。
- ・課題をメールで提出した時に、きちんと届いているか不安である。確認メールを返信して欲しい。kibacoであれば、その不安がない。

##### ⑤ 課題のない授業

- ・課題がない授業や教員がただ話しているだけの授業ではアウトプットの機会がないため、理解が進まない。
- ・期末テストまで全く課題を課さないのではなく、定期的に課題や小テストをして欲しい。

#### (2) 授業動画の配信について

- ・リアルタイムだと、通信障害が発生した際にその部分を見直すことができない。そのため授業後に動画を配信して欲しい。
- ・授業動画を見ながら復習することで、より理解を深めることができる。真面目な学生に合わせて授業動画の配信をお願いしたい。学生が溜めてしまうのが心配であれば、期間を定めてでも公開してほしい。
- ・後で見返すことができるのが、オンラインのよいところだと思う。
- ・資料や動画のkibacoへの掲載期限を無くすか長くしてほしい。そうすれば、何度も復習をすることができる。
- ・通信障害があっても、リアルタイム授業に一部分参加ができず、授業動画の配信を希望したが、受け入れられなかった。こちらの責任ではないにも関わらず、学修機会を奪われるのはおかしいと思う。
- ・資料の配布、授業動画の配信がないと、通信の影響で参加出来なかった学生が大きな不利益を被る。

#### (3) 講義資料について

- ・資料のkibacoへのアップは前日までにしてほしい。深夜や授業開始直前にアップされても印刷や予習ができません。
- ・授業終了後、講義資料をkibacoへアップするよう統一してほしい。
- ・資料を送るときはwordではなくPDFにして欲しい。受け取る側はwindowsばかりではないので、受け取った時に書式がバラバラになってしまう。

#### (4) 資料配布のみの授業について

- ・講義を一切せずに、資料だけを配布し課題を出す授業があるが、これは授業と言えるのでしょうか。1年生ですが、ただ難解な説明文を読み自分で理解する、というのは他の学生との理解度の比較もできず、あまりに不安です。先生の顔を見ただけでも無ければ、声を聞いたこともありません。
- ・資料配布のみで課題を課されるだけの授業では、他の授業形式と比較して格段に理解度が落ちます。

#### (5) 質問について

- ・Zoomでの口頭の質問は、全員に聞かれることになるため難しい。
- ・Zoomを使用したオフイスアワーを設けて欲しい。
- ・チャットによる質問はし易くなったが、質問の真意(意図)を理解してもらおうのが難しい。資料を示しながらの質問ができない。

#### (6) 板書について

- ・教室での板書を配信するタイプの授業の場合、文字が見難い。字を大きく書いて欲しい。記号などは特に見え難い。
- ・黒板への板書よりも、タブレットに板書して、それを画面共有して欲しい。

#### (7) 授業時間について

- ・時間どおりに授業を終えて欲しい。次の授業の Zoom に入れなくなってしまう。
- ・オンラインで小テストを行う際に、次に授業があることを考えずに行うのはやめて欲しい。次の授業に間に合わなくなる
- ・授業が終わった後に、コメントペーパーを書かせるのを止めて欲しい。次の授業に間に合いません。
- ・長時間のオンライン授業受講は目や腰が痛くなるなど、身体的な負担が大き。途中で 5 分程度でいいので休憩を入れて欲しい。

#### (8) Zoom での顔出しについて

- ・顔出しの強制は、通信料やプライバシーの観点から止めて欲しい。
- ・カメラをオンにするのであれば、部屋の中の写したくないものを隠すなど準備があるので、事前に知らせて欲しい。

#### (9) Zoom での雑音について

- ・入室したときミュートになっていない学生がいる。雑音となるので、教員の設定で一括ミュートにして欲しい。

#### (10) Zoom への再入室について

- ・通信障害が発生し再接続したら、欠席扱いとなった。
- ・再接続すると、なかなか入られてくれない教員がいる。待機室を無効化して欲しい。

#### (11) Zoom (その他)

- ・チャットに気が付かない教員がいる。気が付くのが難しいのであれば TA を活用して欲しい。
- ・Zoom の ID を定期的なものにして欲しい。
- ・教員がマウスカーソルで「ここ」と指してもタイムラグがあるので、どこを指しているのか理解できない。
- ・チャットを板書の代わりにされても、理解が進まない。

#### (12) 音声について

- ・声が聞こえない、聞き取り難いのが一番のストレスとなる。
- ・ノイズが入るので、パソコンのマイクではなく、イヤホンマイクを使って欲しい。
- ・対面よりも聞き取り難いので、もっとゆっくりと話して欲しい。

#### (13) 授業のスピードについて

- ・オンライン授業は対面と比べて、授業スピードが速くなりがちです。
- ・PDF などの資料を共有しながらの授業だと、特に進行スピードが速く、ノートテイクや理解が追いつかない。

#### (14) グループワークについて

- ・グループワークでまったく発言や作業をしない学生と同じ評価になるのはおかしい。
- ・グループワークは難しいので、発言し易いよう誘導 (アイスブレイクやテーマなどを工夫) して欲しい。
- ・すぐにビデオオン、発言ができる環境にある訳ではないので、ブレイクアウトセッションを行う際は、「数分後にやりますよ」と予告をして欲しい。

#### (15) その他

- ・画像がなく音声だけの授業は、集中が途切れやすい。話している映像だけでも共有してほしい。
- ・他の学生の理解度が見えず、自分がどの程度理解しているのかが判らず不安です。
- ・郵送でのレポートの提出はやめて欲しい。
- ・シラバス通りに授業を進めて欲しい。
- ・インクを大量に消費するので、資料の背景を無意味にカラーにするのはやめて欲しい。
- ・ゼミはカメラオフだと、相手の表情を見ることができないため、議論に支障をきたす。

## 2 オンライン授業に対する要望

### (1) オンデマンド型授業実施への要望

- ・「双方向性ではない授業」や「一方的に説明するだけの授業」、「kibaco に上げられた資料をただ読むだけの授業」などは、リアルタイムでやる意義を感じない。オンデマンド型にして欲しい。
- ・大人数、座学ではリアルタイムでやる必要はないのではないかと。
- ・授業時間中、パワーポイントの資料をただ読むだけの授業に意味を感じない。また、それがリアルタイムである必要はない。
- ・一日中、リアルタイムのオンライン授業のためにパソコンの前にいなければならないのは、精神的、身体的にも負担である。その意味でも時間を選んで受講できるオンデマンドの授業があるとよい。

### (2) 各形式の統一について

- ・科目ごとにレギュレーションが異なるので、混乱してしまう。出席の取り方 (課題の提出だったり、チャットだったり、テストだったり、そもそも確認がなかったり) や Zoom の入室条件や URL の周知の時期・方法、課題の提出方法 (kibaco なのか、メールなのか) などを統一して欲しい。
- ・出席の取り方を統一して欲しい。チャットだと授業毎にその旨を言っていたかかないと、忘れてしまふことがある。

### (3) 学生同士の交流

- ・学生同士の意見交換ができず、お互いの理解を高め合うといったことが困難。もっと学生同士が直接交流できる場を設けて欲しい。
- ・他学部の学生との交流がない。
- ・南大次に通いたい (健康福祉学部 1 年生)。

### 3 大学に対する要望

#### (1) 印刷費用について

- ・プリンターの印刷費用・コピー代が高く、負担である。
- ・学内の印刷機・コピー機を使えるようにして欲しい。

#### (2) 施設使用について

- ・図書館が使えないことで、学修の機会が制限されているような感覚を抱いた。
- ・図書館の開館時間を長くして欲しい。
- ・研究室の判断で大学に通える、通えないが決まるのは不公平。大学として統一して欲しい。
- ・大学の施設・設備を使えるようにして欲しい。

#### (3) 学費について

- ・施設が使えないのに、例年と同じ学費はおかしいのではないか。

#### (4) kibacoの改修について

- ・「テスト・アンケート」も「課題」などのように、マイページから一覧で確認できるようにして頂きたいです。
- ・課題提出の際に、一時保存ができるようにして欲しい。
- ・Zoom のリンクを一括管理できるページが kibaco に欲しい。

#### (5) その他

- ・方針の周知が遅い。地方の学生は引越す必要がある。方針の変更は早く周知して欲しい。
- ・地方に住んでいる学生のことをもっと考えて欲しい。印刷しようにも近くにコンビニは無いし、ネット環境も東京とは異なる。また、東京にいないにも関わらずアパートを払い続けているもの精神的に苦しい。
- ・講義は全てオンラインなのに、試験だけ対面は止めて欲しい。1 科目の試験のためだけに感染の危険をおして上京する必要があります。
- ・オンラインを上手に活用している教員とそうではない教員に二極化されている。
- ・kibaco に不慣れた教員に対し、説明会を開いて欲しい。
- ・早く対面授業を再開して欲しい。

# 教員を対象としたオンライン授業アンケート 報告書

2020年9月10日 教学IR推進室

## 報告書の構成

- I. 調査概要
- II. 調査結果ダイジェスト
- III. 部局別分析結果
- IV. 自由記述

## I. 調査概要

1. 対象・内容  
2020年7月に東京都立大学の教員を対象にオンライン授業に関するアンケートを実施した
2. 方法
  - (1)調査対象：非常勤講師を含む本学全教員(1095名)
  - (2)調査期間：2020年7月1日～15日
  - (3)調査方法：Web上でアンケートへの回答を求めた
  - (4)有効回答：621件(回収率、56.7%)

## 3. 回答者属性

	度 数	度 %	教 授	准 教 授	助 教	助 手	非 常 勤 講 師	そ の 他	無 回 答	合 計
人文社会科学部/人文科学研究科	34	29.8%	27	1	0	0	52	0	0	114
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
法学部/法学政治学研究科	14	60.9%	6	0	0	0	3	0	0	23
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
経済経営学部/経営学研究科	17	48.6%	10	0	0	0	3	4	1	35
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
理学部/理学研究科	21	39.6%	21	8	0	0	3	0	0	53
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
システムデザイン学部/システムデザイン研究科	20	28.6%	25	12	0	0	13	0	0	70
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
都市環境学部/都市環境科学研究科	29	35.4%	26	10	2	2	15	0	0	82
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
健康福祉学部/人間健康科学研究科	15	25.9%	15	7	0	0	21	0	0	58
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
大学教育センター	8	17.8%	10	2	0	0	18	7	0	45
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
国際センター	2	18.2%	2	1	0	0	5	0	1	11
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
学生サポートセンター	2	66.7%	0	0	0	0	1	0	0	3
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
学術情報基盤センター	1	100.0%	0	0	0	0	0	0	0	1
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
その他	0	0.0%	0	0	0	0	119	0	2	121
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	2	0	3	5
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%
合計	163	26.2%	142	41	2	2	255	11	7	621
	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%	度 数	%

## II. 調査結果ダイジェスト

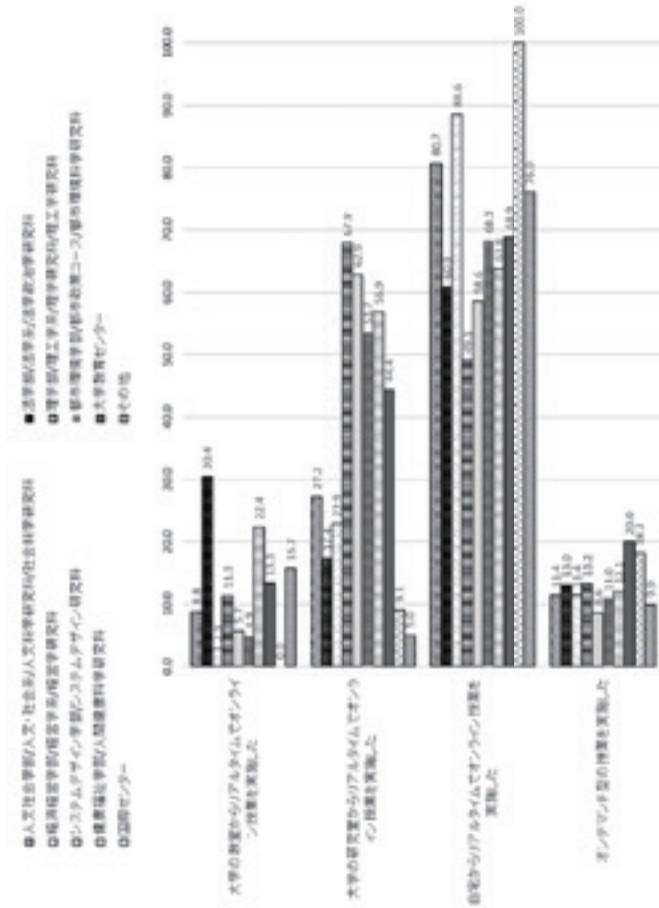
1. 授業の実施場所について
  - 実施場所については全体的には自宅で実施するケースが最も多くなっていたが、理系の部局では大学の研究室から実施するケースも多い。
  - オンデマンド型の授業の実施は1～2割程度となっていた。
2. 授業方法について
  - どの部局でも「スライドを画面共有しながら説明した」「オンライン上に資料をアップした」の割合は高かった。
  - 国際センターでは、リアルタイムでの学生とのやり取りやグループワークなど、インタラクティブな授業が他部局に比べ多くなっていた。
  - 理学部ではTIAの活用率が高くなっていた。
3. オンライン授業のメリットについて
  - メリットとしては「対面授業ではできないことが可能になった」「学生の発言や質問が増えた」が多かった。
  - 「授業運営が効率的になった」「学生のフォローアップが容易になった」については部局による違いがみられた。
4. オンライン授業のデメリットについて
  - デメリットとしては「学生の反応がつかみにくくなった」「授業準備の負担が増えた」「学生が受講する環境が均一でないので不公平が発生する」の割合が高くなっていた。ただし、部局によって割合にはばらつきがあった。

## III. 部局別分析結果

\*学生サポートセンター、学術情報基盤センターについては回答者が3名以下と少なくなっているため、以降の分析からは除外した。

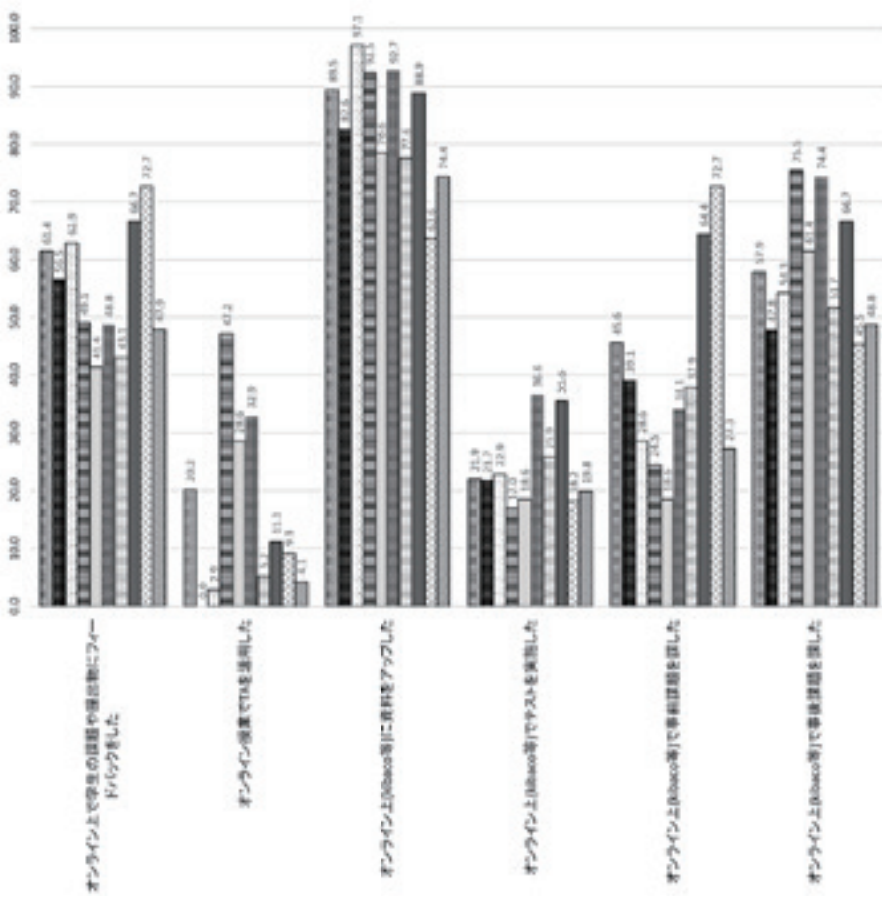
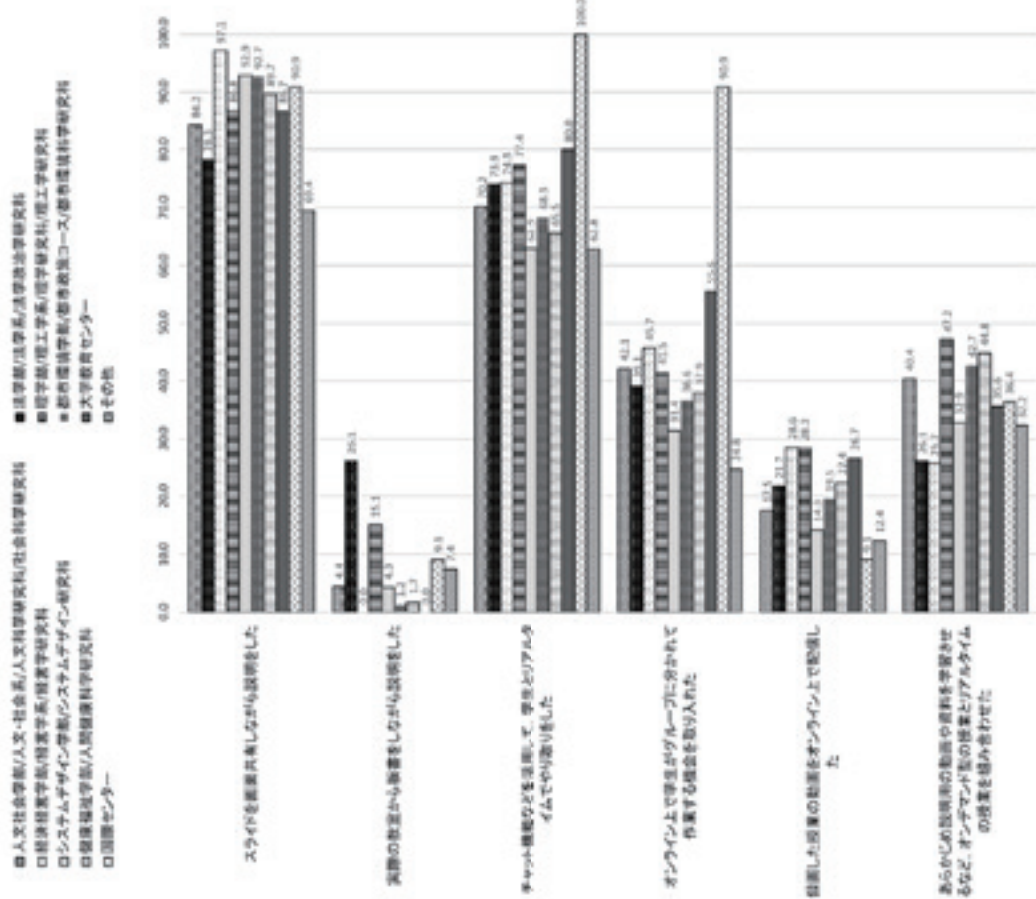
1. オンライン授業の実施場所
 

実施場所については全体的には自宅で実施するケースが最も多くなっていたが、理系の部局では大学の研究室から実施するケースも多いことが示された。オンデマンド型の授業の実施は1～2割程度となっていた。



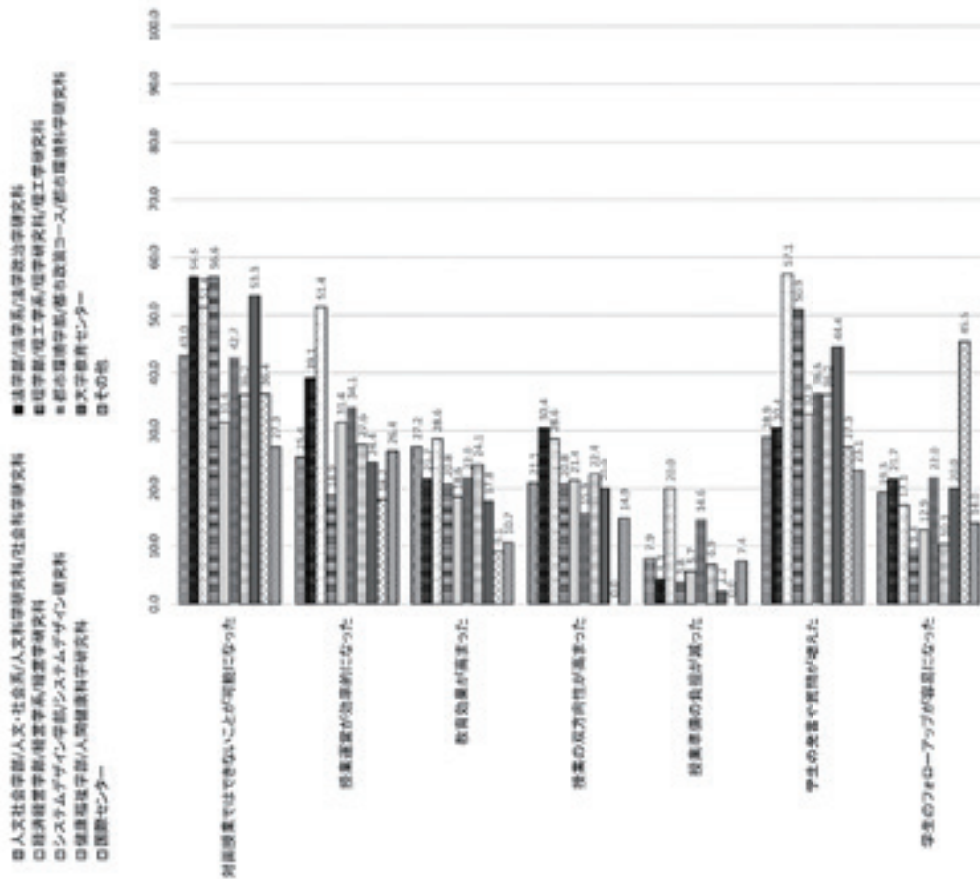
## 2. 授業実施方法

どの部局でも「スライドを画面共有しながら説明した」「オンライン上に資料をアップした」の割合は高かった。国際センターでは、リアルタイムでの学生とのやり取りやグループワークなど、インタラクティブな授業が他部局に比べ多くなくなっていた。このほか、理学部ではPAの活用率が高いことなども示された。



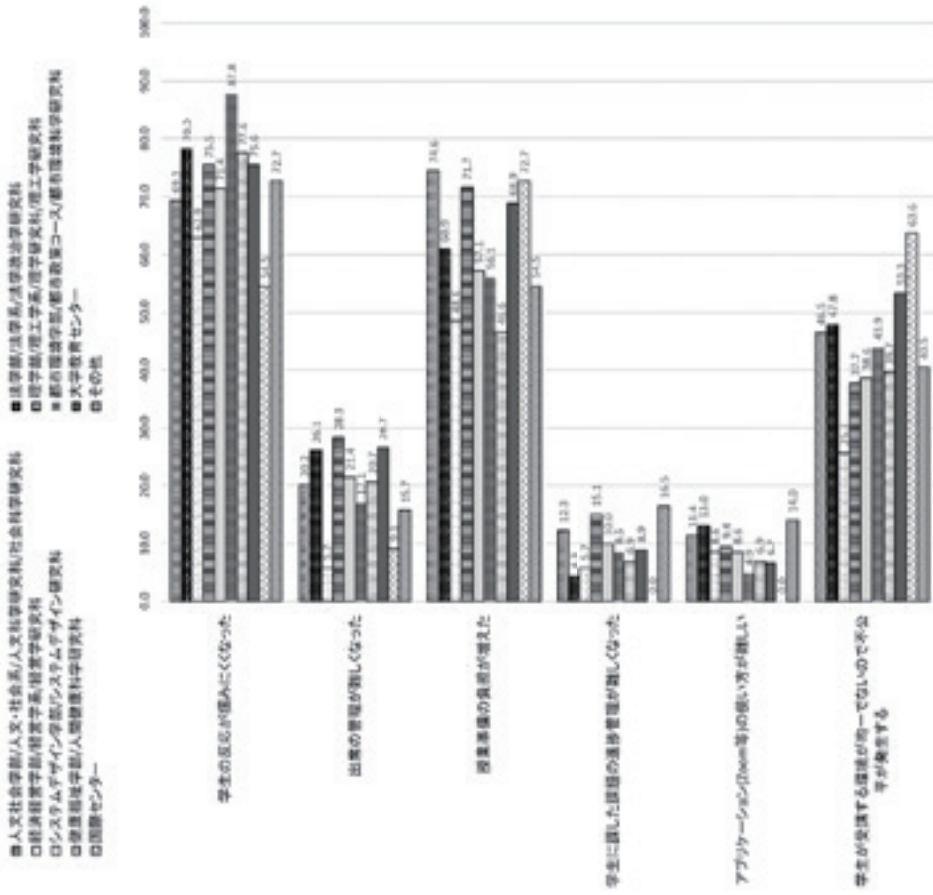
### 3. オンライン授業のメリット

メリットとしては「対面授業ではできないことが可能になった」「学生の発言や質問が増えた」が比較的多く挙げられていた。「授業運営が効率的になった」「学生のフォローアップが容易になった」では部局によって認識の違いのあることも示唆された。



### 4. オンライン授業のデメリット

デメリットについては全体的に「学生の反応がつかみにくくなった」「授業準備の負担が増えた」「学生が受講する環境が均一でないのが不公平が発生する」の割合が高くなっていった。ただし、部局によって割合にはばらつきもあった。





#### IV. 自由記述

\*自由記述については回答数が多いため、「今後の教育の中でオンライン授業をどのように取り入れていくのか」についての回答を抜粋して示した。

##### 1. オンライン授業の利点の活用

- ・kibaco 等を活用し事前・事後学習を課すことで学生の学習を促せる
- ・動画配信は事前・事後学習に効果的
- ・学生が意見を言いやすい
- ・座学・大講義ではオンライン授業のメリットが大き
- ・障がい学生や体調不良の学生，社会人大学院生，留学生に有益
- ・複数キャンパスの学生が受講できる

##### 2. オンライン授業の欠点への留意

- ・学生・大学のネット環境を整える必要
- ・対面授業とオンライン授業の併用が物理的（施設設備的、時間的）に難しい
- ・直接のやりとりがない分，ケアやフォローが必要
- ・長時間の受講は身体面にネガティブな影響
- ・他の学生との交流の機会が減る

##### 3. オンライン授業ではなく対面授業を希望

- ・演習・実習・実験・ゼミ・試験は対面にしてほしい
- ・対面授業が最も効果的

##### 4. オンライン授業導入時の工夫

- ・部局ごとにオンライン授業日・時限とオフライン授業日・時限について一定の指針を定めることが不可欠
- ・基礎的な講義科目はオンデマンドのコンテンツ配信とオンラインでのやり取りである程度カバーできる
- ・通常の講義はオンラインを中心にし、テスト期間を使って大学でのテストや実験・実習など対面授業を進めると良い
- ・教養や基礎科目など、複数の部局から受講生がある科目については、活用すべき
- ・台風などの自然災害、出張などの際のバックアップとして準備
- ・補講講義動画の YouTube 配信・欠席等した学生へのフォロー